



# 七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 29

平成24年 6月 1日

## 金環食

5月21日（月）朝，1987年以来となる金環日食が日本各地で観測されました。当日はあいにくの曇り空でしたが，午前8時頃から雲が切れ始め，35年ぶりとなる天体ショーを観測することができました。

丁度，生徒の登校時間だったので，多くの生徒・職員が，専用のグラスなどを通して観察しました。残念ながら，観察できたのは，日食の後半部分だけで，以下の写真は七校から撮影した日食の様子です。雲の切れ間から，太陽がまるで三日月のように見えます。



午前8時14分



午前8時34分

## 山小屋作り

総合的な学習の時間『山の学校』の一コマです。この日は、『水守の郷』の裏山で木の伐採をしました。4月の爆弾低気圧で折れた木が散乱していて，風のすさまじさを実感しました。計画では，伐採した木を利用して，ログジを作る予定です。

今年度の総合的な学習の時間は，『山の学校』の他に，『園芸』，『絵本を楽しむ会』，『自然科学概論』，『音楽』の5つのコースに分かれて，それぞれ生徒達が取り組んでいます。七校便りでも，時々，生徒の活動の様子を紹介していきたいと考えています。写真は木の伐採をしている生徒達です。



## 『いこいの里』にて

5月24日(木)、25日(金)、28日(月)、29日(火)の4日間、七校教員バンドが、『いこいの里』でミニコンサートを開きました。

今年度の教員バンドは、ギター、キーボード、フルート、三味線、マンドリン、そしてボーカルという構成です。

今回は、『故郷』や『月の沙漠』などの唱歌、『さんさしぐれ』や『花笠音頭』といった民謡、『上を向いて歩こう』や『渚めぐり』などの懐かしい曲、『湯ノ原の四季』や『七ヶ宿の女』など地元ゆかりの曲などを演奏しました。



フルートとキーボード



マンドリンとギターデュオ

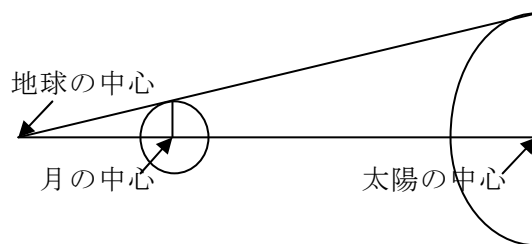


ギターの弾き語りとトーク

### 余白(副校長)

日食は、地球と太陽の間に丁度、月が入り込み、月が太陽の光をさえぎる現象です。なぜ、このようなことが起こるのかを、簡単に説明します。

月が太陽を隠すのは、月と太陽の見かけの大きさが同じだからです。地球から月までの距離と、地球から太陽までの距離の比は、約400:1です。そして月の半径と太陽の半径の比も、約400:1です。したがって、地球と月、及び地球と太陽が作る直角三角形は相似になります(下図参照)。



距離と半径の比が同じであるのは、まったくの偶然によるものです。この偶然のおかげで、私達は美しく神秘的な現象を見ることが出来るわけです。

月は一年に約4cm、地球から遠ざかっているため、いつかは日食が見られなくなります。勿論、近い将来ではなく、数億年も先のことです。

ちなみに、地球が月と太陽の間にあり、それぞれの中心が一直線上に並べば、月食となります。